



2015年度 エコマークフォーラム

# エコマーク年次活動報告

---

公益財団法人日本環境協会  
常務理事・エコマーク事務局長  
宇野 治

---



# 目次

1. 商品類型(商品分野)での動き
2. エコマークに関するデータ
3. 普及啓発活動
4. 国際協力活動
5. 今後の取り組み



# 1.商品類型(商品分野)での動き



# 1.商品類型(商品分野)での動き(1)

## 新しい商品分野での認定基準制定

- プラスチック製容器包装のリサイクルによる「アンモニア製造プロセス」(2015年6月1日制定)

- エコマークで初めての製造プロセスでの認定基準
- 消費者が分別・排出したプラスチック製容器包装を、高効率でアンモニアなどの化学製品にリサイクルするプロセス



# 1.商品類型(商品分野)での動き(2)

## 認定基準の制定(従前基準の見直し)

- 「文具・事務用品」
- 「トナーカートリッジ」、「インクカートリッジ」
- 「便器などの衛生器具」、「給水栓」、「節水器具」
- 「衣服」、「家庭用繊維製品」、「工業用繊維製品」

いずれもグリーン購入法との整合を図り、エコマーク認定証・Webサイトにおいて、グリーン購入法に適合している旨を表示しています



# 1.商品類型(商品分野)での動き(3)

## サービス分野の見直し

- 料金体系の改定
- 「ホテル・旅館」、「小売店舗」認定基準の改定

- 現地確認による審査の拡大とそれに伴う証明方法の見直し(事前の書類作成等作業の省略化)
- 基準項目の統合・整理
- 実態に則した表現への修正 など



## 2.エコマークに関するデータ

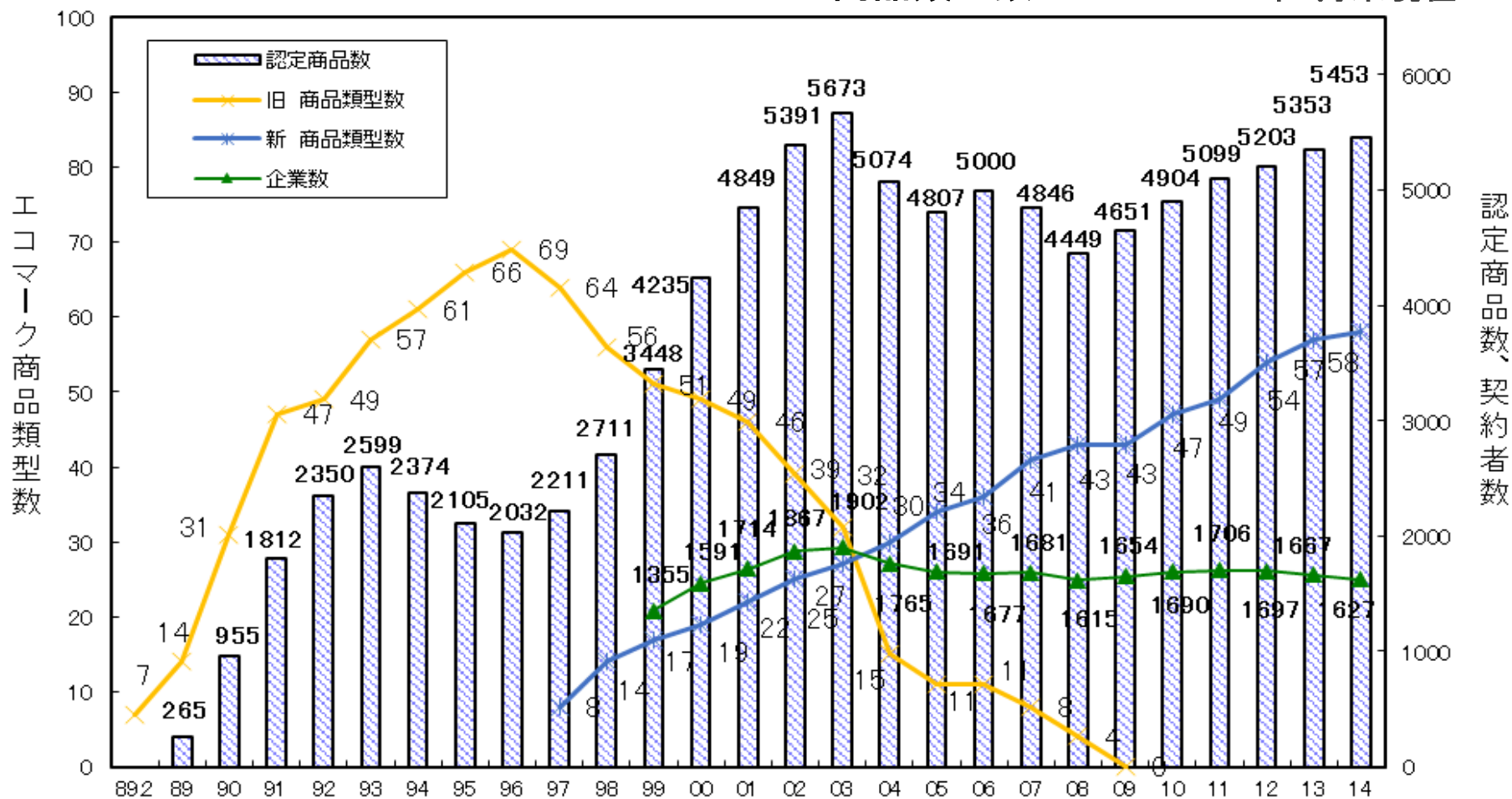


# 2. エコマークに関するデータ(1)

## 認定商品数と商品類型数の推移

- 認定商品数: 5,563
- 認定企業数: 1,610
- 商品類型数: 62

2016年1月末現在







## 2. エコマークに関するデータ(2)

### エコマーク認定商品によるCO<sub>2</sub>削減効果の推計

#### 目的

- エコマーク商品の購入・利用による環境負荷低減効果の定量化

#### 評価対象範囲

- 全58商品カテゴリのうち32商品カテゴリ

#### 算定方法

- CO<sub>2</sub>削減効果の発揮の仕方から3つに分類し、それぞれ算定方法を設定
  - A.原材料の変更** ...再生材の利用など、原材料の変更に係るもの
  - B.原材料の低減** ...軽量化等原材料の削減に係るもの
  - C.使用電力量の削減等** ...使用時の省エネ・節水に係るもの



## 2. エコマークに関するデータ(2)

### 結果

- 2014年の1年間に販売されたエコマーク商品のライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>削減効果は合計**約101万tCO<sub>2</sub>**

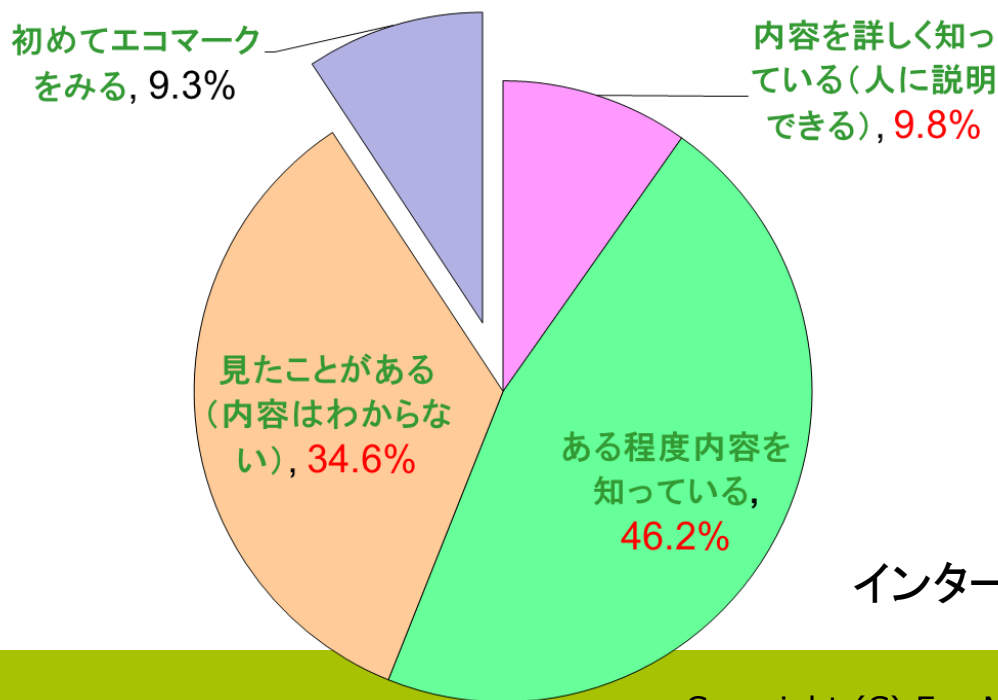
約44万人分の家庭からの1年間のCO<sub>2</sub>排出量を削減することに相当



## 2. エコマークに関するデータ(3)

### エコマークの認知度調査

- 全体の約9割がエコマークを「見たことがある」と回答
- 「内容を知っている(人に説明できる+ある程度知っている)」は約半数。



インターネット調査(2015年3月)



## 3. 普及啓発活動



# 3. 普及啓発活動(消費者向け)

## イベントフェア出展

- ・エコライフフェア (6月)
- ・エコプロダクツ2015 (12月)

## 自治体のイベントへの参加

- ・滋賀県大津市
- ・広島県東広島市
- ・東京都中野区
- ・千葉県



## 消費者グループフォーラム、消費者教育フェスタへの参加

- ・近畿ブロック(和歌山)



# 3. 普及啓発活動(企業向け)

- ・エコマークアワード実施
- ・ドイツ・欧州の環境規制動向セミナー開催
- ・都道府県リサイクル製品認定制度セミナー開催
- ・国際ホテル・レストランショー出展



ドイツ・欧州の環境規制動向セミナー(11月)



国際ホテル・レストランショー(2月)



# 3. 普及啓発活動(こども・学生)

## 中高生の環境授業

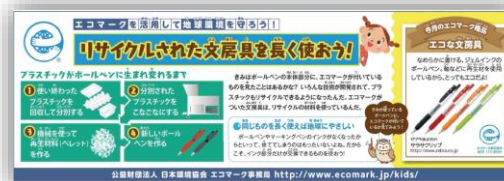
- ・近隣の中学校の訪問受け入れ など



中学生訪問の様子(10月)

## 小学生へのPR

- ・小学生向け環境情報紙エコチルへの情報掲載



エコチル2月号

## こどもエコクラブとの協働

- ・全国フェスティバル参加
- ・壁新聞審査 など

昨年度の全国フェスティバルの様子





# 3. 普及啓発活動(その他)

## 媒体による普及啓発

- ・メールマガジン
- ・ニュースレター「エコマークニュース」
- ・エコマークウェブサイト
- ・Facebookページ など



エコマークニュースとウェブサイト

## 企業、自治体等と連携した普及啓発

- ・ATCエコマークゾーンの展示
  - エコマーク大阪デスクの開設(毎月第3木曜)
- ・東海三県一市グリーン購入キャンペーン
- ・エコマークのシンボル使用の推進
- ・グリーンステーション等への掲載 など

エコマークの常設展示  
(大阪・ATC)







## 4. 国際協力活動



# 4. 国際協力活動(1)

## ■ 世界エコラベリング・ネットワーク(GEN)での活動

- 1997年設立(日本は発起団体)
- 29のラベル機関が加盟
- 設立当初より、役員および総務事務局を担当
- 2012年GENICES認定(GENによる監査システム)を取得済
- 役員会(4月、スウェーデン)、年次総会(10月、香港)に出席





## 4. 国際協力活動(2)

### 相互認証に関する活動実績

時期	内容
2015年4月	北欧・ノルディックスワンと「複写機・プリンタなどの画像機器」での相互認証開始
2015年4月	日中韓三カ国にて「プロジェクト」での相互認証開始
2015年10月	ドイツ・ブルーエンジェルとの認証手順規則締結 -「複写機・プリンタなどの画像機器」での相互認証開始
2015年10月	香港・グリーンラベルおよびシンガポール・グリーンラベルとの相互認証協定締結



#### 【相互認証協定を締結したラベル機関】



ドイツ・ブルーエンジェルとの調印式の様子(10月)



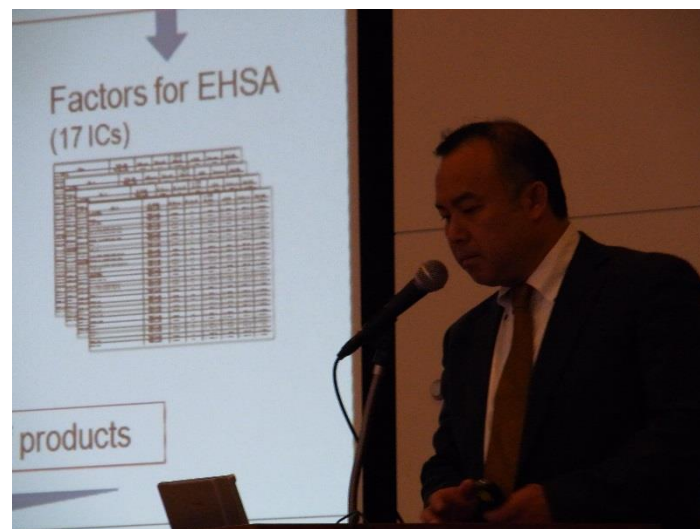
## 4. 国際協力活動(3)

### 国際シンポジウム

「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」

(2015年12月、東京ビッグサイト)

- 講演: EU、ドイツ、タイ、韓国、中国、日本



国際シンポジウムの様子(12月)



## 5. 今後の取り組み



# 5. 今後の取り組み(1)

## 環境のシンボルとしてのエコマークを目指して

- 社会的認知度を一層高める
- 購買場面において広く利用される環境ラベルとなる

### エコマークの 機能強化

- ・戦略的な新規商品分野の拡充
- ・国際動向も踏まえた基準の設定
- ・基準適合性確認体制の一層強化
- ・消費者等に有効な環境情報の提供

### コミュニケーション 強化・連携

- ・「エコマークアワード」の強化
- ・各機関と連携した情報発信

### 国際的取組の 強化

- ・相互認証の推進、情報収集・分析



## 5. 今後の取り組み(2)

### 見直し中の認定基準

- 「パーソナルコンピュータ」
- 「家具」
- 「日用品」
- 「詰め替え容器・省資源型の容器」
- 「靴・履物」

社会状況に即して認定基準の改定・見直しを行っています。



# 5. 今後の取り組み(3)

## エコマーク活用機会の拡充

- 環境省 地球温暖化防止国民運動「COOL CHOICE」への賛同による  
コラボロゴの提供



エコマーク使用契約企業は、本ロゴに自社名を入れて、自由に使用できるようになります。





**ご清聴ありがとうございました。**